

第 51 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果
(2024 年 2 月調査)

～ 景況感は 2 期連続で悪化。先行きも悪化の見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲8.2（前回調査比 2.1 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「資金繰り」が悪化した一方、「売上高」「営業利益」はともに改善となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業と卸・小売業が改善となった一方、製造業では大幅な悪化となったほか、サービス業でも悪化した。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲8.1（前回調査比 2.4 ポイント上昇）、中央が 4.2（同 7.7 ポイント上昇）とともに改善した一方、県南では▲29.3（同 21.0 ポイント下落）と大幅な悪化となった。
- **先行き**見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲19.2（今回調査比 11.0 ポイント下落）と大幅な悪化の見通しとなっている。

【 特別調査 】

- **雇用調整**についてうかがったところ、令和 5 年度に実施した（あるいは実施している）企業の割合は、「残業規制」が 40.1%（前年調査比 6.1 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 15.2%（同 0.4 ポイント上昇）と「従業員の中途採用」が 54.1%（同 4.4 ポイント上昇）といずれも前年に比べて上昇した一方、「従業員の削減」は 2.7%（同 2.2 ポイント低下）と減少した。
- **新卒者の採用状況**について、来年度（令和 6 年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では 39.2%（前年調査比 1.4 ポイント上昇）と上昇した。

2024 年 2 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 雇用調整について	12
2. 新卒者の採用状況について	13
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>	14
<参考資料Ⅱ：調査の概要>	14

I. 県内企業の業況

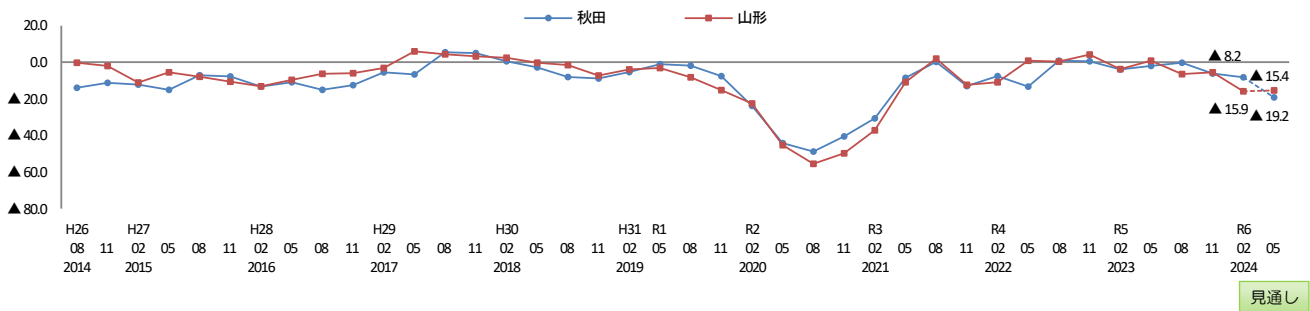
1. 概況

～ 景況感は 2 期連続で悪化。先行きも悪化の見通し ～

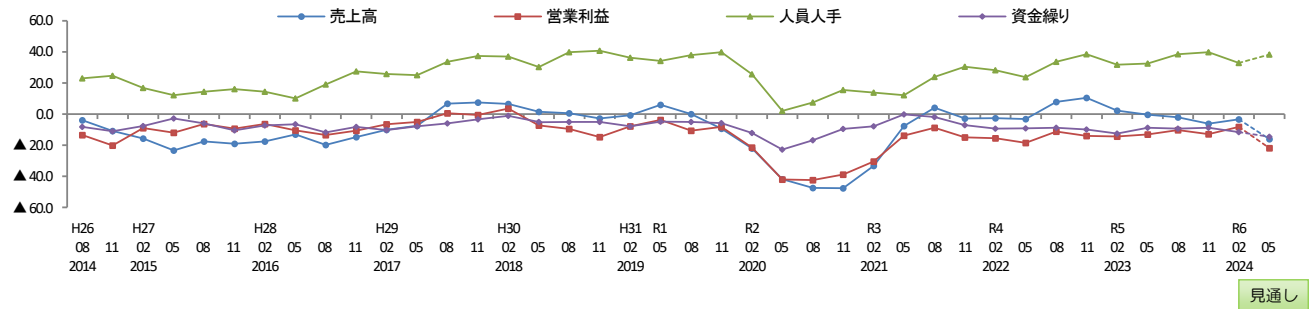
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲8.2（前回調査比 2.1 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「資金繰り」が悪化した一方、「売上高」「営業利益」はともに改善となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲19.2（今回調査比 11.0 ポイント下落）と大幅な悪化の見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2023.02 (n=344)	▲ 4.0	▲ 4.5	▲ 14.5	2.3	▲ 14.3	31.7	▲ 12.5
2023.05 (n=342)	▲ 2.0	2.0	▲ 24.1	▲ 0.3	▲ 13.1	32.4	▲ 8.8
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	1.7	▲ 9.4	▲ 2.1	▲ 10.2	38.5	▲ 9.3
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 5.8	▲ 5.8	▲ 6.1	▲ 12.9	39.8	▲ 8.8
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	(▲ 2.1)	▲ 6.1	▲ 3.3	▲ 8.2	32.8	▲ 11.6
前回調査比	-	-	-	(2.8)	(4.7)	(▲ 7.0)	(▲ 2.8)
先行き見通し	▲ 19.2	-	-	▲ 16.1	▲ 21.8	38.3	▲ 14.5
今回調査比	(▲ 11.0)	-	-	(▲ 12.8)	(▲ 13.6)	(5.5)	(▲ 2.9)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

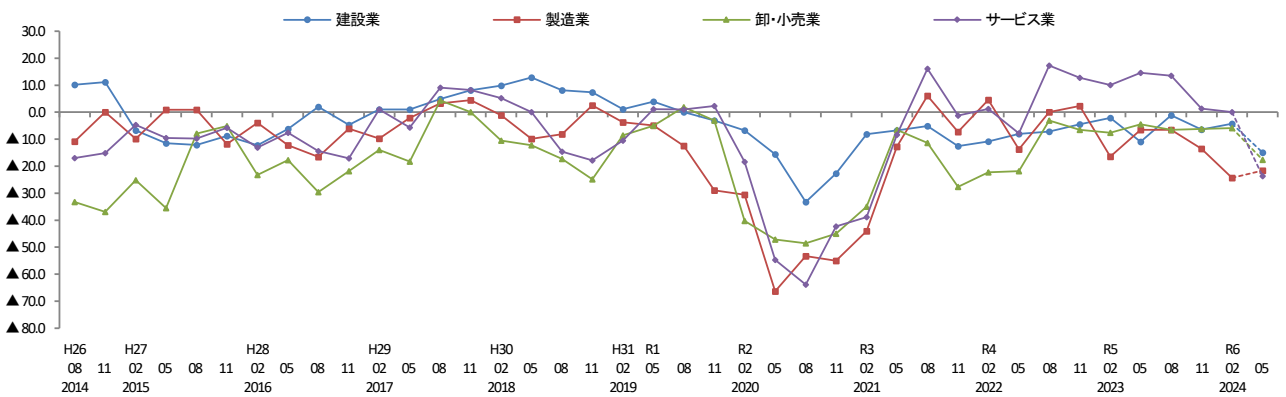
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業と卸・小売業が改善となった一方、製造業では大幅な悪化となったほか、サービス業でも悪化した。

業況の先行き見通しは、製造業では改善が見込まれる一方、その他の 3 業種では大幅な悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2023.02 (n=344)	▲ 4.0	▲ 2.1	▲ 16.4	▲ 7.6	10.1
2023.05 (n=342)	▲ 2.0	▲ 10.9	▲ 6.5	▲ 4.5	14.6
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 6.5	▲ 6.5	13.5
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 6.4	▲ 13.5	▲ 6.2	1.3
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 4.3	▲ 24.3	▲ 5.9	0.0
前回調査比	(▲ 2.1)	(2.1)	(▲ 10.8)	(0.3)	(▲ 1.3)
先行き見通し	▲ 19.2	▲ 14.9	▲ 21.6	▲ 17.6	▲ 23.7
今回調査比	(▲ 11.0)	(▲ 10.6)	(2.7)	(▲ 11.7)	(▲ 23.7)

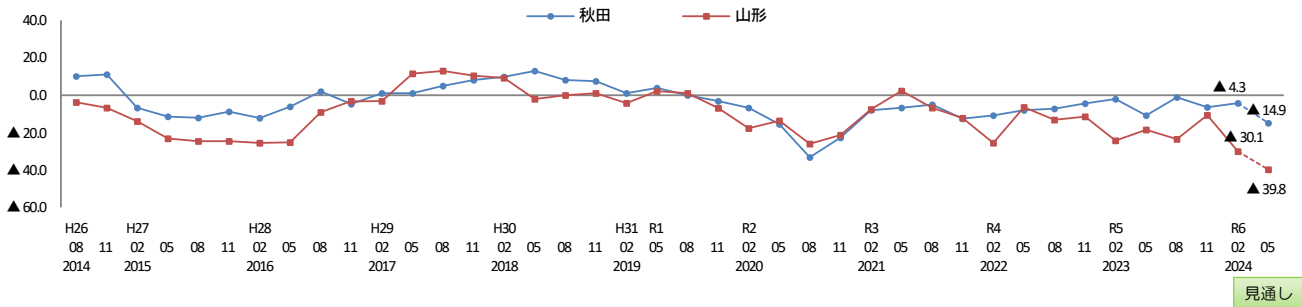
(2) 業種別DI値の動向

① 建設業

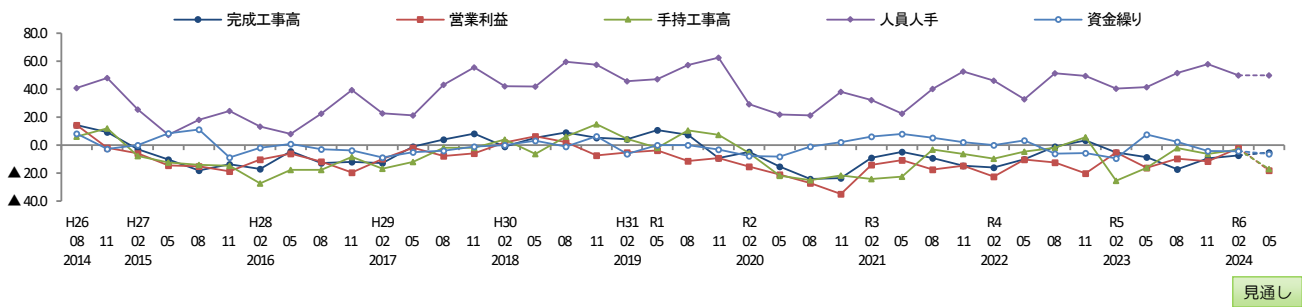
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲4.3（前回調査比2.1ポイント上昇）と2期ぶりの改善となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「資金繰り」が小幅ながら悪化となった一方、「完成工事高」「営業利益」「手持工事高」では改善となった。また、「人員人手」は4期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、今冬の暖冬に伴い、除雪関連が減少した一方、冬期間の工事の進捗好調を挙げるコメントも見られた。また、豪雨災害の復旧工事による受注の増加を挙げるコメントも引き続き見られた。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲14.9（今回調査比10.6ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表4 建設業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表5 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

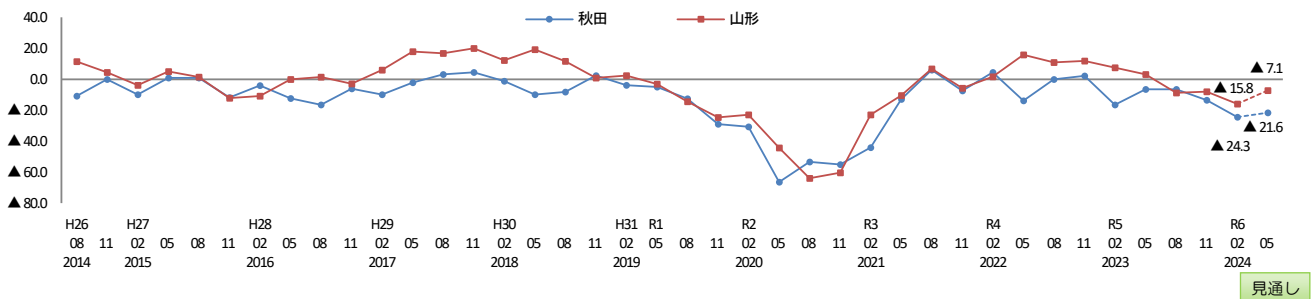
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2023.02 (n=94)	▲ 2.1	2.4	▲ 15.7	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 25.6	40.4	▲ 9.6
2023.05 (n=92)	▲ 10.9	▲ 8.8	▲ 26.6	▲ 8.7	▲ 16.3	▲ 16.3	41.4	7.6
2023.08 (n=93)	▲ 1.1	9.8	▲ 8.7	▲ 17.2	▲ 9.7	▲ 2.1	51.6	2.2
2023.11 (n=95)	▲ 6.4	▲ 5.3	▲ 2.1	▲ 9.5	▲ 11.6	▲ 6.3	57.9	▲ 4.2
2024.02 (n=94)	▲ 4.3	(2.1)	▲ 5.2	▲ 7.4	▲ 2.2	▲ 3.2	50.0	▲ 4.3
前回調査比	-	-	-	(2.1)	(9.4)	(3.1)	(▲ 7.9)	(▲ 0.1)
先行き見通し	▲ 14.9	-	-	▲ 5.3	▲ 18.1	▲ 17.1	50.0	▲ 6.3
今回調査比	(▲ 10.6)	-	-	(2.1)	(▲ 15.9)	(▲ 13.9)	(0.0)	(▲ 2.0)

② 製造業

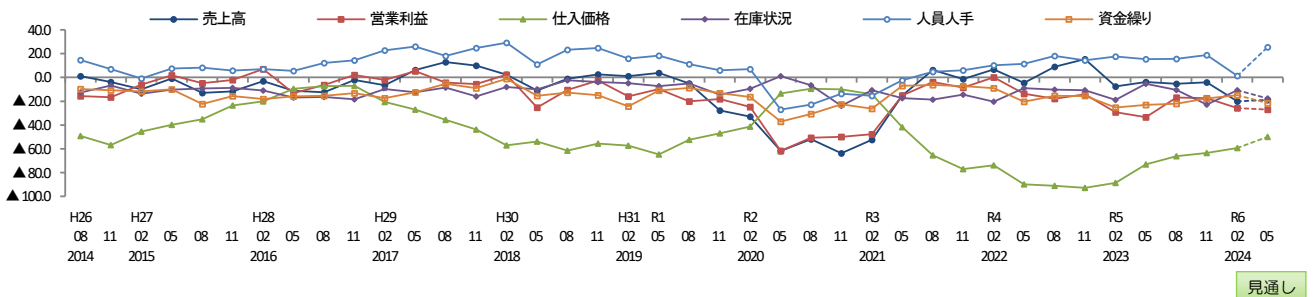
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲24.3（前回調査比 10.8 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「在庫状況」が大幅な改善、「仕入価格」と「資金繰り」が改善となった一方、「売上高」では大幅な悪化となったほか、「営業利益」でも悪化となった。また、「人員人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、原材料費や燃料価格等の上昇に伴う影響を挙げるコメントが引き続き多く寄せられたほか、来期以降、新規事業や新商品開発などに重点を置くというコメントや価格競争に巻き込まれない企業体制の構築に取り組むというコメントなども見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲21.6（今回調査比 2.7 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

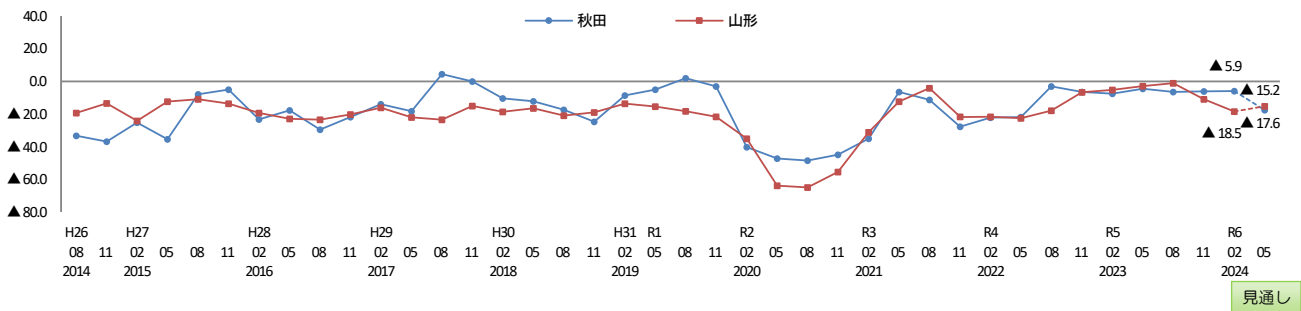
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2023.02 (n=79)	▲ 16.4	▲ 18.7	▲ 13.1	▲ 7.6	▲ 29.1	▲ 88.6	▲ 18.9	17.7	▲ 25.3
2023.05 (n=78)	▲ 6.5	9.9	▲ 24.0	▲ 3.9	▲ 33.3	▲ 73.1	▲ 5.2	15.3	▲ 23.1
2023.08 (n=77)	▲ 6.5	0.0	▲ 14.1	▲ 5.2	▲ 16.9	▲ 66.2	▲ 10.4	15.6	▲ 22.1
2023.11 (n=74)	▲ 13.5	▲ 7.0	▲ 7.8	▲ 4.0	▲ 17.5	▲ 63.5	▲ 22.9	18.9	▲ 17.6
2024.02 (n=74)	▲ 24.3	(▲ 10.8)	▲ 8.1	▲ 20.2	▲ 25.7	▲ 59.4	▲ 10.8	1.3	▲ 14.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 16.2)	(▲ 8.2)	(4.1)	(12.1)	(▲ 17.6)	(2.7)
先行き見通し	▲ 21.6	-	-	▲ 18.9	▲ 27.0	▲ 50.0	▲ 17.6	25.6	▲ 21.6
今回調査比	(2.7)	-	-	(1.3)	(▲ 1.3)	(9.4)	(▲ 6.8)	(24.3)	(▲ 6.7)

③ 卸・小売業

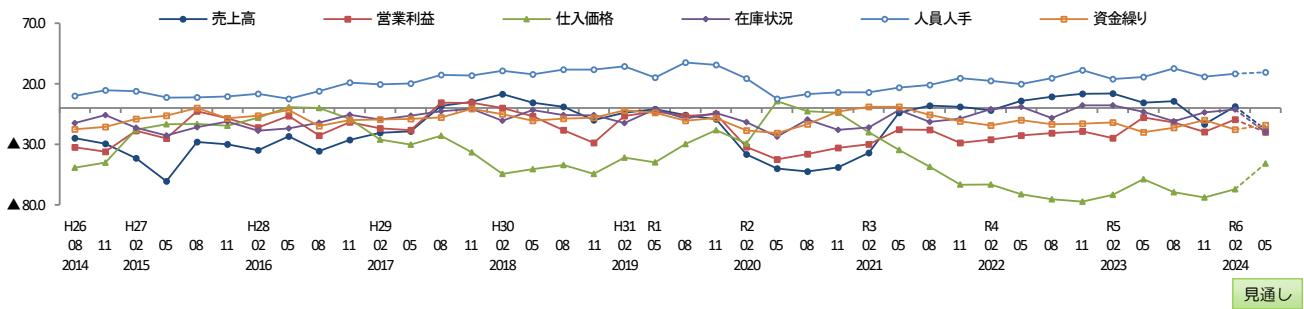
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲5.9（前回調査比 0.3 ポイント上昇）と小幅ながら 2 期連続の改善となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「資金繰り」が悪化となった一方、「売上高」と「営業利益」ではともに大幅な改善となったほか、「仕入価格」「在庫状況」でも改善となった。また、「人員人手」は 2 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、仕入れ価格の上昇による業績への影響が依然として色濃くうかがえたほか、ガソリンスタンドなどでは暖冬による業績への影響を挙げるコメントも多く寄せられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲17.6（今回調査比 11.7 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

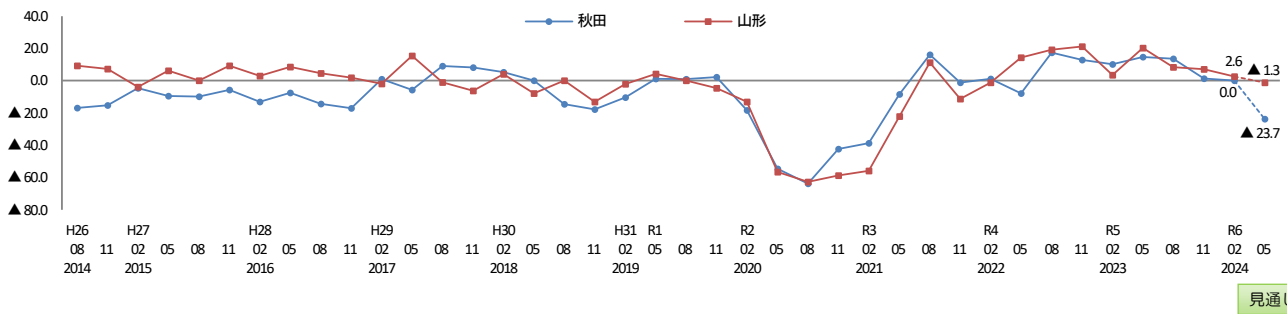
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2023.02 (n= 92)	▲ 7.6	▲ 1.1	▲ 22.5	12.0	▲ 25.0	▲ 71.7	2.2	23.9	▲ 12.0
2023.05 (n= 90)	▲ 4.5	3.1	▲ 26.0	4.5	▲ 7.8	▲ 58.9	▲ 3.3	25.6	▲ 20.0
2023.08 (n= 92)	▲ 6.5	▲ 2.0	▲ 13.3	5.5	▲ 12.0	▲ 69.6	▲ 10.9	32.6	▲ 16.3
2023.11 (n= 81)	▲ 6.2	0.3	▲ 14.1	▲ 13.5	▲ 19.7	▲ 74.0	▲ 3.7	25.9	▲ 9.9
2024.02 (n= 85)	▲ 5.9	(0.3)	▲ 7.5	1.2	▲ 9.4	▲ 67.0	▲ 1.2	28.2	▲ 17.7
前回調査比	-	-	-	(14.7)	(10.3)	(7.0)	(2.5)	(2.3)	(▲ 7.8)
先行き見通し	▲ 17.6	-	-	▲ 17.7	▲ 20.0	▲ 45.9	▲ 20.0	29.4	▲ 14.1
今回調査比	(▲ 11.7)	-	-	(▲ 18.9)	(▲ 10.6)	(21.1)	(▲ 18.8)	(1.2)	(3.6)

④ サービス業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は 0.0（前回調査比 1.3 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」がともに改善となった一方、「資金繰り」は悪化となった。また、「人員人手」は 4 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、光熱費や人件費等のコスト上昇による業績への影響が引き続きうかがえたほか、運輸業では 2024 年問題の影響から運賃の値上げを挙げるコメントが寄せられた。また、令和 5 年 12 月から秋田—台湾を結ぶチャーター便（タイガーエア台湾）の運行が始まったことから、インバウンド需要の増加を期待するコメントも多く寄せられた。

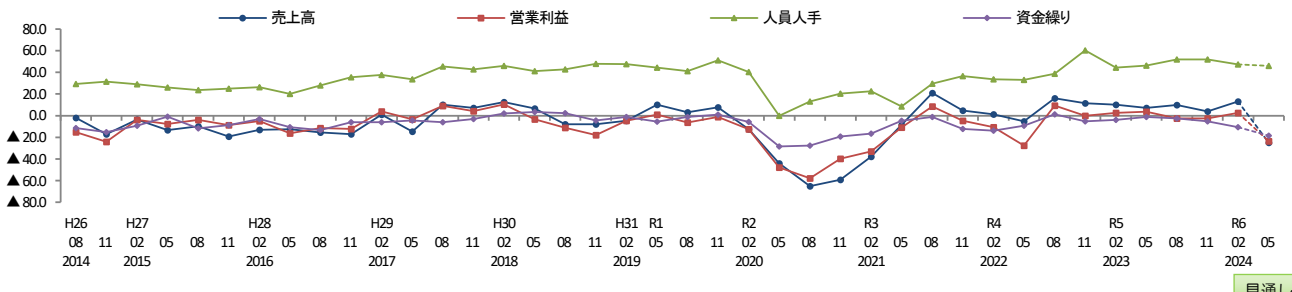
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲23.7（今回調査比 23.7 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2023.02 (n=79)	10.1	▲ 2.7	▲ 5.1	10.1	2.6	44.3	▲ 3.8
2023.05 (n=82)	14.6	4.5	▲ 19.0	7.3	3.6	46.3	▲ 1.2
2023.08 (n=81)	13.5	▲ 1.1	▲ 1.3	9.9	▲ 2.5	51.9	▲ 2.5
2023.11 (n=77)	1.3	▲ 12.2	1.2	3.9	▲ 2.6	51.9	▲ 5.2
2024.02 (n=76)	0.0	(▲ 1.3)	▲ 3.9	13.1	2.6	47.4	▲ 10.5
前回調査比	-	-	-	(9.2)	(5.2)	(▲ 4.5)	(▲ 5.3)
先行き見通し	▲ 23.7	-	-	▲ 25.0	▲ 23.6	46.1	▲ 18.5
今回調査比	(▲ 23.7)	-	-	(▲ 38.1)	(▲ 26.2)	(▲ 1.3)	(▲ 8.0)

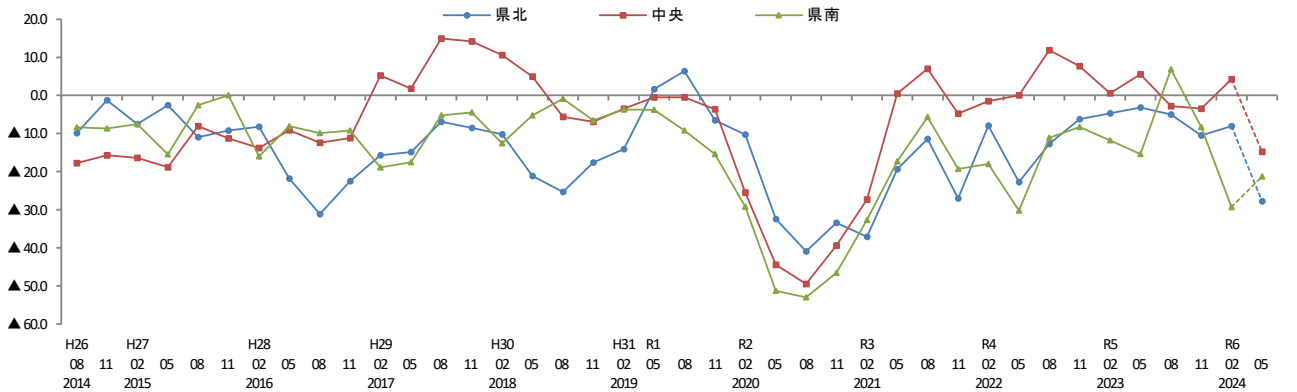
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲8.1（前回調査比 2.4 ポイント上昇）、中央が 4.2（同 7.7 ポイント上昇）とともに改善した一方、県南では▲29.3（同 21.0 ポイント下落）と大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北と中央では大幅な悪化が見込まれている一方、県南では改善の見通しとなっている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2023.02 (n=344)	▲ 4.0	▲ 4.7	0.6	▲ 11.8
2023.05 (n=342)	▲ 2.0	▲ 3.2	5.5	▲ 15.4
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	▲ 5.0	▲ 2.8	6.8
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 10.5	▲ 3.5	▲ 8.3
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 8.1	4.2	▲ 29.3
前回調査比	(▲ 2.1)	(2.4)	(7.7)	(▲ 21.0)
先行き見通し	▲ 19.2	▲ 27.8	▲ 14.8	▲ 21.3
今回調査比	(▲ 11.0)	(▲ 19.7)	(▲ 19.0)	(8.0)

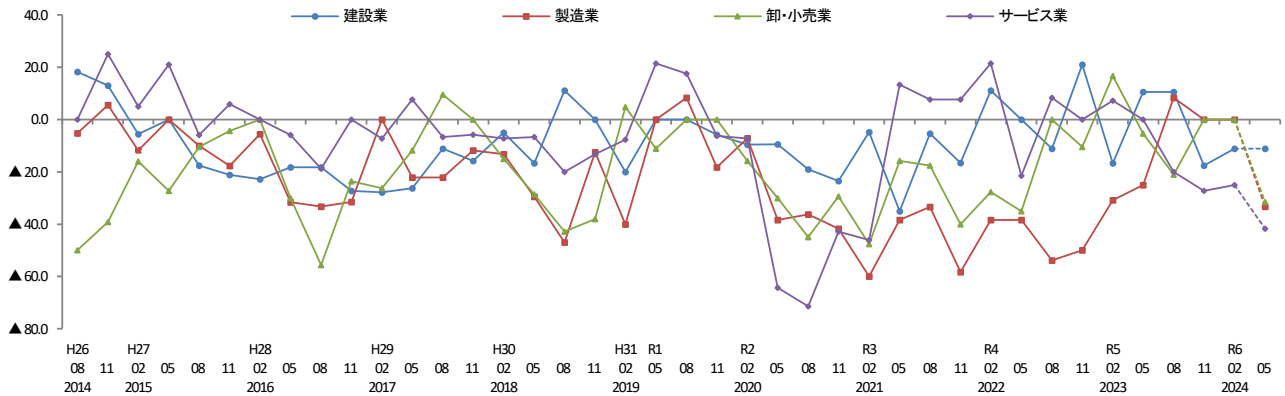
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲8.1（前回調査比 2.4 ポイント上昇）と 3 期ぶりの改善となった。業種別では、建設業とサービス業で改善となったほか、製造業と卸・小売業では横ばいとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲27.8（今回調査比 19.7 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、製造業、卸・小売業、サービス業では大幅な悪化が見込まれているほか、建設業では横ばいの見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

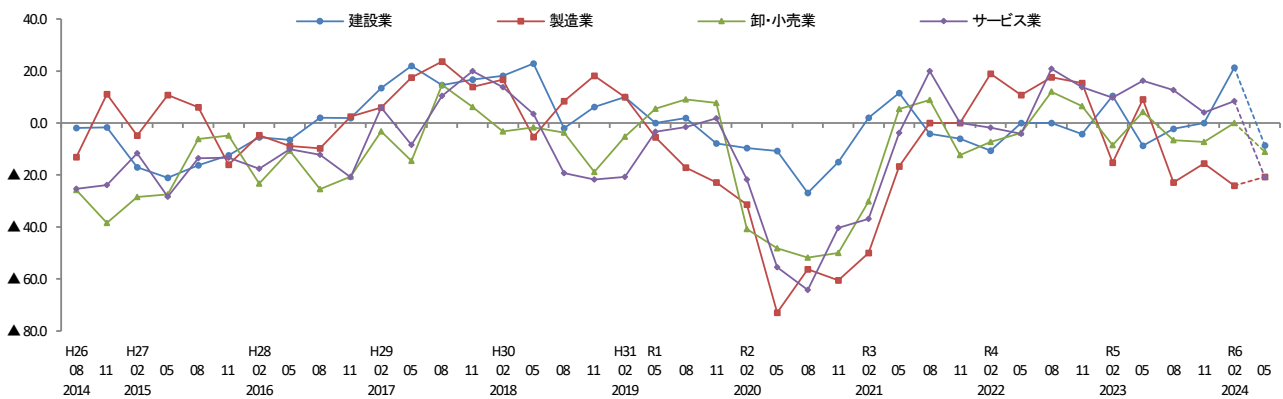
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.02 (n=63)	▲ 4.7	▲ 16.7	▲ 30.8	16.7	7.2
2023.05 (n=63)	▲ 3.2	10.5	▲ 25.0	▲ 5.3	0.0
2023.08 (n=60)	▲ 5.0	10.5	8.3	▲ 21.0	▲ 20.0
2023.11 (n=57)	▲ 10.5	▲ 17.6	0.0	0.0	▲ 27.3
2024.02 (n=61)	▲ 8.1	▲ 11.1	0.0	0.0	▲ 25.0
前回調査比	(2.4)	(6.5)	(0.0)	(0.0)	(2.3)
先行き見通し	▲ 27.8	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 31.5	▲ 41.7
今回調査比	(▲ 19.7)	(0.0)	(▲ 33.3)	(▲ 31.5)	(▲ 16.7)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 4.2（前回調査比 7.7 ポイント上昇）と 3 期ぶりに改善し、再びプラスへと転じた。業種別では、建設業で大幅な改善となったほか、卸・小売業とサービス業でも改善となった一方、製造業では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.8（今回調査比 19.0 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、製造業で改善の見通しとなっている一方、その他の 3 業種ではいずれも大幅な悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

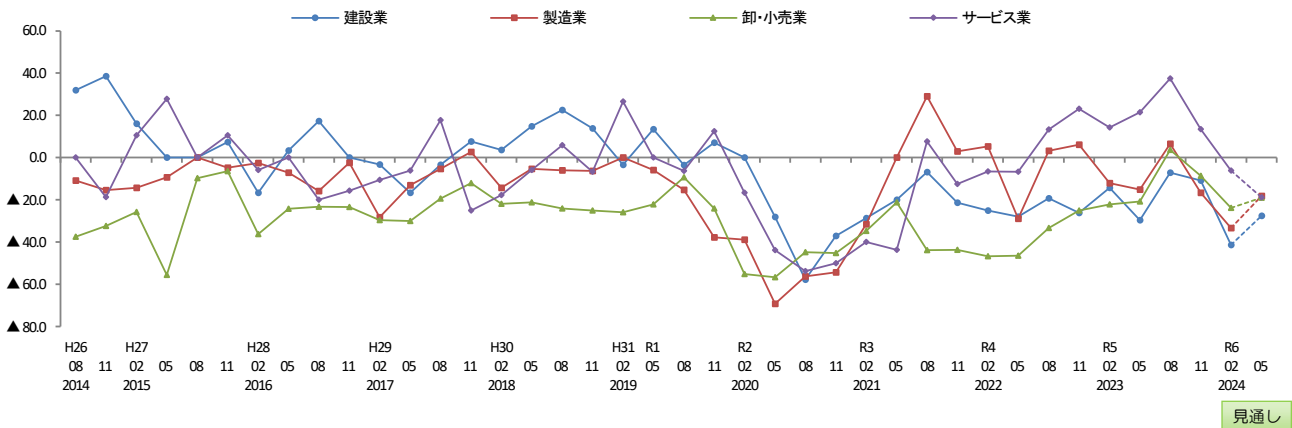
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.02 (n=179)	0.6	10.4	▲ 15.2	▲ 8.5	9.8
2023.05 (n=181)	5.5	▲ 8.7	9.1	4.3	16.3
2023.08 (n=181)	▲ 2.8	▲ 2.2	▲ 22.9	▲ 6.6	12.7
2023.11 (n=174)	▲ 3.5	0.0	▲ 15.6	▲ 7.3	4.0
2024.02 (n=169)	4.2	21.3	▲ 24.1	0.0	8.4
前回調査比	(7.7)	(21.3)	(▲ 8.5)	(7.3)	(4.4)
先行き見通し	▲ 14.8	▲ 8.6	▲ 20.7	▲ 11.1	▲ 20.8
今回調査比	(▲ 19.0)	(▲ 29.9)	(3.4)	(▲ 11.1)	(▲ 29.2)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲29.3（前回調査比 21.0 ポイント下落）と 2 期連続で大幅な悪化となった。業種別では、すべての業種で大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲21.3（今回調査比 8.0 ポイント上昇）と改善が見込まれている。業種別では、サービス業では大幅な悪化が見込まれる一方、建設業と製造業では大幅な改善が見込まれるほか、卸・小売業でも改善の見通しとなっている。

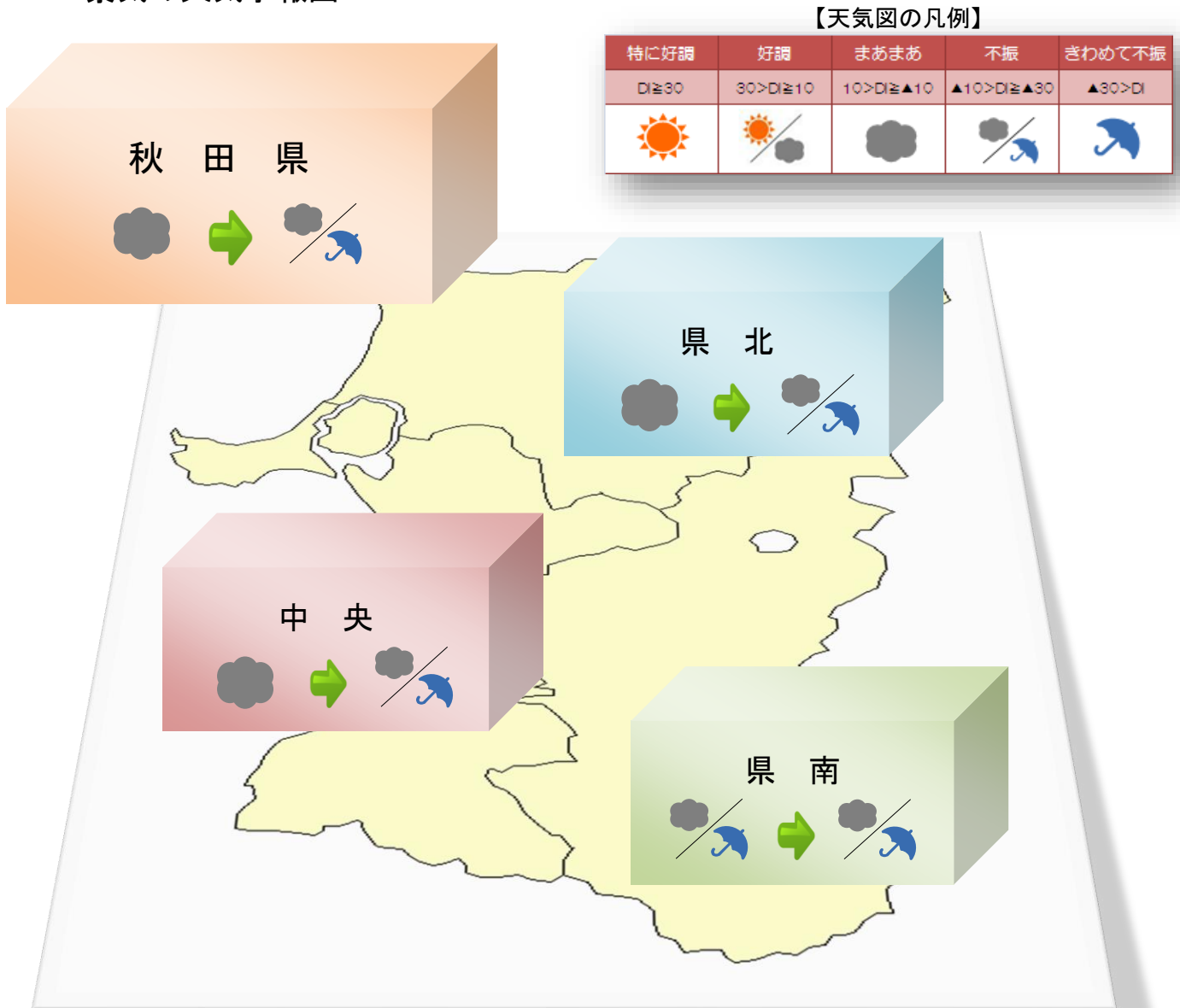
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.02 (n=102)	▲ 11.8	▲ 14.3	▲ 12.1	▲ 22.2	14.3
2023.05 (n=98)	▲ 15.4	▲ 29.6	▲ 15.1	▲ 20.8	21.4
2023.08 (n=102)	6.8	▲ 7.1	6.6	3.6	37.5
2023.11 (n=96)	▲ 8.3	▲ 10.8	▲ 16.7	▲ 8.7	13.4
2024.02 (n=99)	▲ 29.3	▲ 41.4	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 6.2
前回調査比	(▲ 21.0)	(▲ 30.6)	(▲ 16.6)	(▲ 15.1)	(▲ 19.6)
先行き見通し	▲ 21.3	▲ 27.6	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 18.8
今回調査比	(8.0)	(13.8)	(15.1)	(4.8)	(▲ 12.6)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

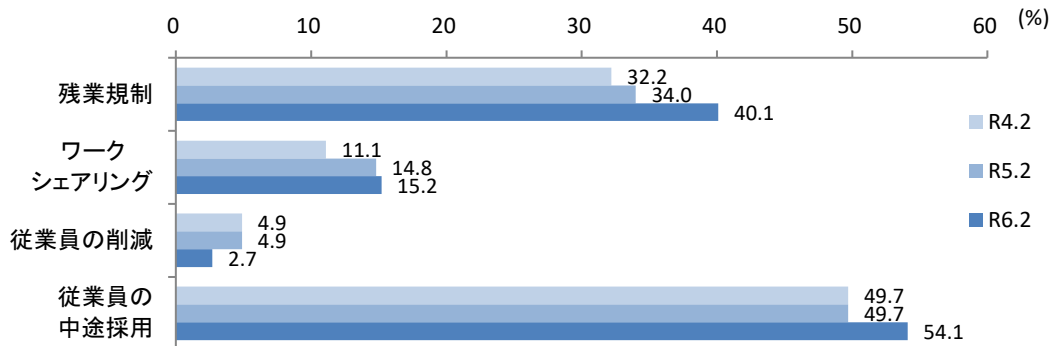
Ⅲ. 特別調査

1. 雇用調整について

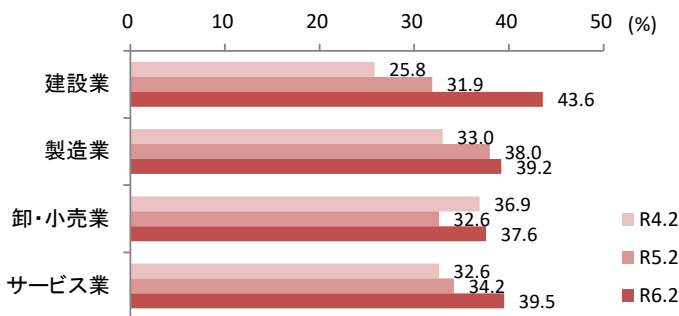
令和 5 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、実施している企業の割合は、「残業規制」が 40.1%（前年調査比 6.1 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 15.2%（同 0.4 ポイント上昇）と「従業員の中途採用」が 54.1%（同 4.4 ポイント上昇）といずれも前年に比べて上昇した一方、「従業員の削減」は 2.7%（同 2.2 ポイント低下）と減少した。

実施している企業の割合が最も高いのは「従業員の中途採用」で、5 割台となっている。

図表 16 雇用調整の実施状況

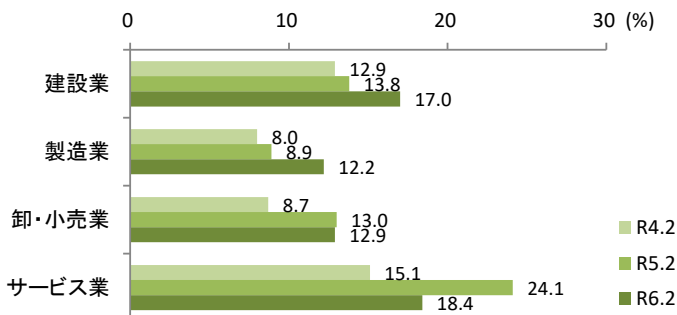


図表 17 業種別「残業規制」の実施状況



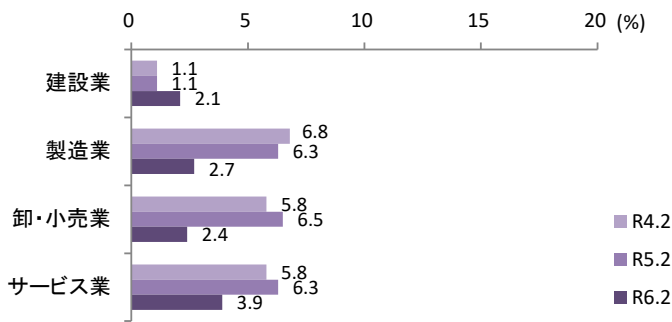
「残業規制」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、すべての業種で上昇となった。最も割合が高いのは建設業の 43.6%で、他の 3 業種でも 4 割近い割合となった。

図表 18 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



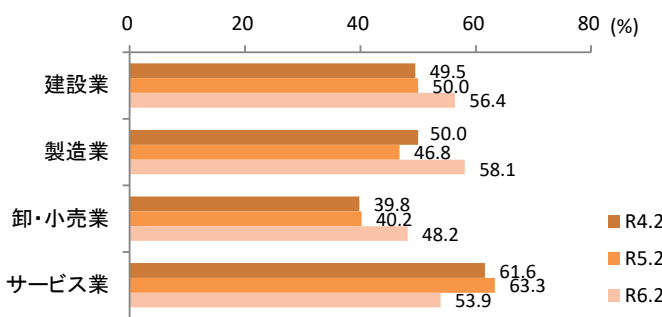
「ワークシェアリング」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、建設業と製造業で上昇となった一方、卸・小売業とサービス業では低下した。実施した企業の割合は、いずれも 1 割台となっている。

図表 19 業種別「従業員の削減」の実施状況



「従業員の削減」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、建設業で増加となった一方、その他の3業種ではいずれも低下となった。実施した企業の割合は、いずれの業種でも1割未満と低い割合となっている。

図表 20 業種別「従業員の中途採用」の実施状況



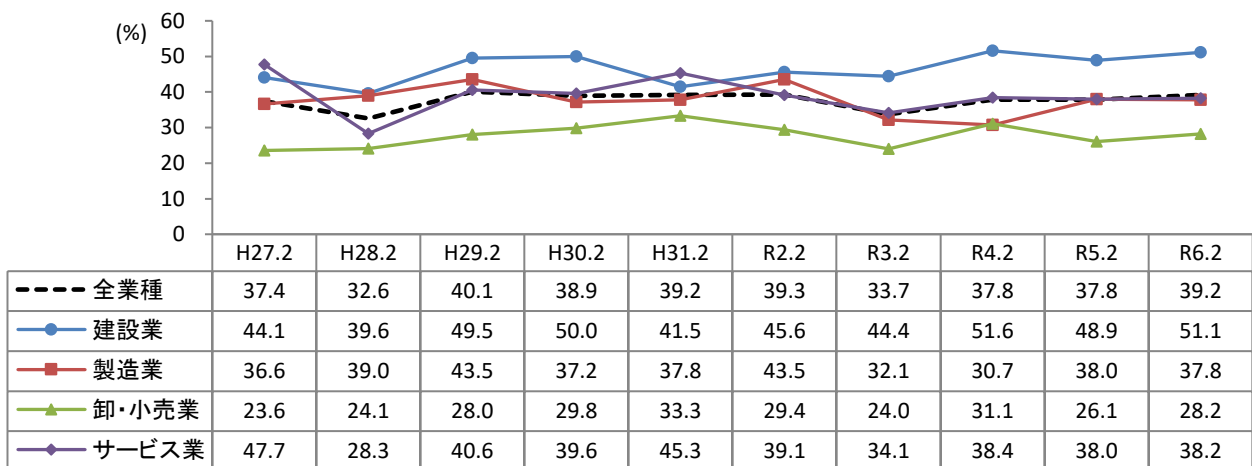
「従業員の中途採用」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、サービス業で低下となった一方、その他の3業種ではいずれも増加となった。実施した企業の割合は、卸・小売業で4割台、その他の業種は5割となっている。

2. 新卒者の採用状況について

来年度（令和6年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では39.2%（前年調査比1.4ポイント上昇）と上昇した。

業種別にみると、製造業では減少となった一方、他の3業種ではいずれも上昇した。

図表 20 業種別「新卒者の採用状況」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	21	17	24	19	81
中央	64	47	66	77	254
県南	36	48	38	20	142
合計	121	112	128	116	477

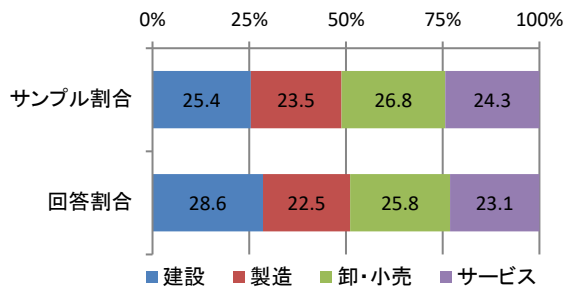
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	18	12	19	12	61
中央	47	29	45	48	169
県南	29	33	21	16	99
合計	94	74	85	76	329

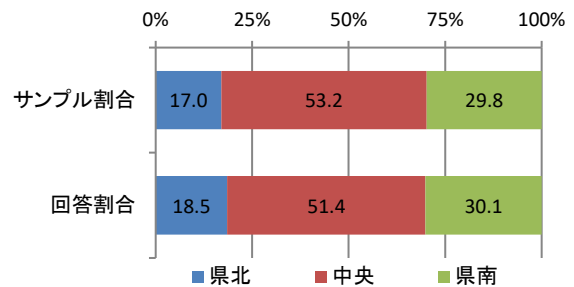
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	85.7	70.6	79.2	63.2	75.3
中央	73.4	61.7	68.2	62.3	66.5
県南	80.6	68.8	55.3	80.0	69.7
合計	77.7	66.1	66.4	65.5	69.0

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2024年2月1日（木）～15日（木）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 小玉/佐藤

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>